

第8回

[日 時] 平成25年12月21日（土）18:30 - 20:30

[場 所] 石巻専修大学4号館1階 4103教室

[テーマ] 「人と社会を結ぶデザイン - クリスマスディスプレイをデザインしよう -」

[講 師] 株式会社ビートニク 宮崎 祥江 氏

【使用したテキスト】

- ・『耕人』H25_8.pdf （塾長から塾生へのメッセージ：第8号）

【活動内容詳細】

18:30 開会の挨拶（木村塾長）

概要：岐阜県四日市から中高生9名，登米市中田から中学生1名が，講座をぜひ見学したいということで，今回一緒に参加するということを塾長が話し，すぐに講師先生による講話に入りました。



18:35 『人と社会を結ぶデザイン - クリスマスディスプレイをデザインしよう -』

概要：進行役の指導員より，宮崎祥江さんは，東京世田谷区にありますが株式会社ビートニクのデザイナーをしているということや，祥江さんが宮城県のご出身で，10代は地元で剣道に打ち込みながらも，高校卒業後は東京の美術大学でデザインを学び，さまざまな経緯を経て株式会社ビートニクを設立，現在に至っていらっしゃるという紹介がされました。

また，いつもとは違う指導委員との対話形式で講話が進められました。



始めに、祥江さんがどのようなデザインの仕事をしていたらいいのか、どのようにデザインが人と社会を結びつけていくのかを、これまでの仕事の制作秘話などと絡めて教えていただきました。

まずは地元である宮城県内のビジネスホテルの客室デザインについて、「コンペ」という競合形式で勝ち得た時のお話や、ショールームのデザインを手がけた際に、何度もやり直しをしながら完成に至った経緯が刺激的で楽しい仕事となったこと、化粧品の新商品キャンペーンの為に空間デザインや、クリスマスディスプレイのデザインのお話等、具体的な事例や完成写真を元にいろいろと話していただきました。

そして、見せていただいたようなデザインを生み出すに至った祥江さんの人としての背景について、生い立ちから詳しく話していただき、どのようにして今の職業に至ったのかを話していただきました。



・・・対話の最後では、祥江先生や東京のデザイナーのみなさんが、東日本大震災後に東松島市立宮戸小学校のサポートをしてきた活動についてお話しいただきました。

その活動とは、宮戸小学校の児童が震災に負けず、夢や希望に満ちた10年後の宮戸島の様子を絵に描いていたことを生かして、10年後の宮戸島に似合う椅子作りのワークショップを行ったり、児童1人1人の絵を基にオリジナルTシャツを作ったりした活動でした。今では、将来なりたい職業にデザイナーと答える児童が宮戸小には何人かいるそうです。



講話後、自ら手を挙げた塾生の星澤君に司会をしてもらい質疑応答となりました。「一番大変だったことは何か」「職業病だなと感じたことは何か」「夢を実現するために、日頃意識していることは何か」「時間の使い方をどう工夫しているのか」などといった質問と講師先生の答えに対し、司会者としての感想を交えながら話を進める星澤君に大きな拍手が送られました。

19:15 『講師先生によるワークショップ - 仮設住宅のクリスマスディスプレイをデザインしよう -』
質疑応答の後、祥江先生によるデザインのワークショップが行われました。

石巻地域には、現在も多くの仮設住宅があり、そこに住むみなさんに少しでも温かな気持ちになって

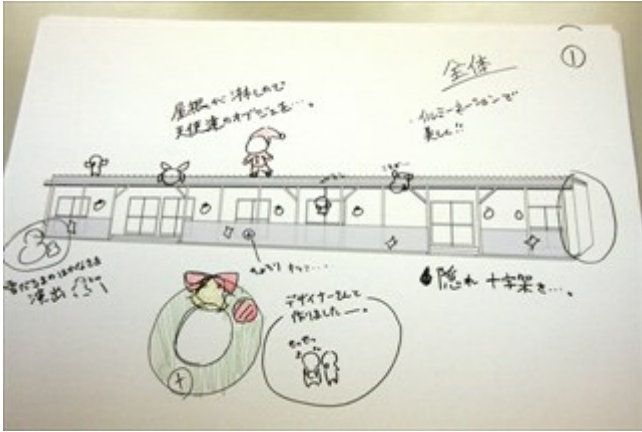
いただけるようなクリスマスのディスプレイをグループごとにデザインしてくださいという課題が提示されました。

グループごとのディスカッションは、講師先生の日頃の仕事を模擬的に行うような内容で、塾生は講話で聞いた相手の立場に立ったデザインはどうあるべきかと、白熱したディスカッションを繰り広げていました。

そして、ディスカッションの内容をスケッチに仕上げた後、グループごとにデザインのコンセプトを話しました。塾生の話し方から熱い思いが込められた様子が伝わってきました。

各グループから提案された仮設住宅の方への思いをデザインしたクリスマスディスプレイの一つ一つは、今回の講師先生のテーマである「人と社会を結ぶデザイン」そのものとなりました。





メニュー

ホーム

耕人塾の活動

令和2年度の活動

令和元年度の活動

平成30年度の活動

平成29年度の活動

平成28年度の活動

平成27年度の活動

平成26年度の活動

平成25年度の活動

第1回

第2回

第3回

第4回

第5回

第6回

第7回

第8回

第9回

第10回

第11回

修了式

